

2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社 TRUCK - ONE
 コード番号 3047 URL <http://www.truck-one.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 福
 TEL 0833-44-1100
 2020年9月1日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,122	9.8	22	44.3	26	56.1	18	60.0
2019年12月期第2四半期	2,352	12.5	40	305.8	59	167.4	47	272.5

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 16百万円 (65.1%) 2019年12月期第2四半期 47百万円 (392.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	7.85	
2019年12月期第2四半期	19.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	3,549	696	19.6	290.23
2019年12月期	3,302	685	20.8	285.88

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 696百万円 2019年12月期 685百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		2.50		2.50	5.00
2020年12月期		2.50			
2020年12月期(予想)				2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	2.1	45	40.6	51	0.3	35	19.6	14.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	2,552,000 株	2019年12月期	2,552,000 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	153,100 株	2019年12月期	153,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	2,398,900 株	2019年12月期2Q	2,398,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞や、海外経済の悪化により極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後、経済活動の再開が徐々に進んでおりますが、未だ収束には至らず、新型コロナウイルス感染症第2波の到来が懸念されており、依然として先行きが見通せない状況にあります。このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、新型コロナウイルス感染症による営業活動の縮小の影響を受け、減収減益となりました。運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が行っており、新型コロナウイルス感染症による市況の悪化や緊急事態宣言による自粛ムードの影響を受け、受注が減り、減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績としては、売上高2,122,891千円(前年同期比9.8%減)、営業利益22,692千円(前年同期比44.3%減)、経常利益26,037千円(前年同期比56.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益18,833千円(前年同期比60.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

① 商用車関連事業

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、県外への営業活動の自粛や賃貸用資産の車両入替に伴う減価償却費の増加等により、商用車関連事業の売上高は1,759,478千円(前年同期比10.3%減)、セグメント利益は7,544千円(前年同期比22.8%減)となりました。

② 運送関連事業

主に燃料輸送事業において、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞に伴い、輸送燃料の需要が減少し、運送関連事業の売上高は363,413千円(前年同期比7.1%減)、セグメント利益は14,627千円(前年同期比48.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の分析

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,549,569千円となり、前連結会計年度末に比べ247,554千円の増加となりました。このうち流動資産は229,806千円増加して2,475,743千円となりました。主な要因は現金及び預金が14,887千円、受取手形及び売掛金が8,663千円、商品及び製品が212,954千円増加したことによるものです。また、固定資産は17,748千円増加して1,073,825千円となりました。主な要因は繰延税金資産が4,794千円増加したことによるものです。

(負債の状況)

負債合計は2,853,341千円となり、前連結会計年度末に比べ237,134千円の増加となりました。このうち流動負債は213,262千円増加して2,715,153千円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が322,740千円、リース債務が11,979千円、賞与引当金が19,885千円増加し、短期借入金50,000千円、未払金が52,464千円、未払法人税等が37,511千円減少したことによるものです。また、固定負債は23,871千円増加して138,187千円となりました。主な要因はリース債務が23,115千円増加したことによるものです。

(純資産の状況)

純資産合計は696,227千円となり、前連結会計年度末に比べ10,420千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が12,836千円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ14,887千円増加し、359,431千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は223,232千円(前年同期は161,089千円の資金増加)となりました。主な要因は、減価償却費91,002千円の計上、仕入債務321,090千円の増加による資金の増加及びたな卸資産146,695千円の増加による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は127,797千円(前年同期は74,877千円の資金増加)となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出126,951千円の資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は80,547千円(前年同期は59,031千円の資金増加)となりました。主な要因は、短期借入金50,000千円の返済と、リース債務の返済による支出23,760千円の資金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年2月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	364,569	379,456
受取手形及び売掛金	178,596	187,260
商品及び製品	1,663,267	1,876,221
原材料及び貯蔵品	13,133	7,729
その他	27,115	25,726
貸倒引当金	△745	△651
流動資産合計	2,245,936	2,475,743
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	217,259	166,882
土地	411,588	411,588
その他(純額)	314,147	382,670
有形固定資産合計	942,995	961,142
無形固定資産合計	8,725	6,930
投資その他の資産		
投資有価証券	28,845	25,180
繰延税金資産	21,908	26,702
敷金及び保証金	22,363	22,246
その他	31,239	31,623
投資その他の資産合計	104,356	105,753
固定資産合計	1,056,077	1,073,825
資産合計	3,302,014	3,549,569
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	548,886	871,626
短期借入金	1,600,000	1,550,000
リース債務	45,249	57,229
未払金	223,952	171,487
未払法人税等	44,021	6,510
賞与引当金	1,114	20,999
その他	38,666	37,298
流動負債合計	2,501,890	2,715,153
固定負債		
リース債務	82,503	105,619
退職給付に係る負債	31,812	32,568
固定負債合計	114,316	138,187
負債合計	2,616,206	2,853,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	559,220	572,057
自己株式	△14,481	△14,481
株主資本合計	687,420	700,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,612	△4,029
その他の包括利益累計額合計	△1,612	△4,029
純資産合計	685,807	696,227
負債純資産合計	3,302,014	3,549,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,352,707	2,122,891
売上原価	2,074,276	1,858,829
売上総利益	278,430	264,062
販売費及び一般管理費	237,692	241,369
営業利益	40,738	22,692
営業外収益		
受取利息	12	72
受取配当金	7,235	729
受取保険金	5,542	556
保険解約返戻金	332	447
補助金収入	1,683	2,573
持分法による投資利益	4,468	—
その他	3,533	1,986
営業外収益合計	22,807	6,365
営業外費用		
支払利息	3,144	2,582
その他	1,076	437
営業外費用合計	4,220	3,019
経常利益	59,325	26,037
特別利益		
関係会社株式売却益	38,202	—
特別利益合計	38,202	—
税金等調整前四半期純利益	97,528	26,037
法人税、住民税及び事業税	61,916	10,749
法人税等調整額	△11,509	△3,545
法人税等合計	50,407	7,204
四半期純利益	47,120	18,833
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,120	18,833

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	47,120	18,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85	△2,416
その他の包括利益合計	△85	△2,416
四半期包括利益	47,034	16,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,034	16,417
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	97,528	26,037
減価償却費	71,676	91,002
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△51	△93
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,056	19,885
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	775	756
受取利息及び受取配当金	△7,247	△802
支払利息	3,144	2,582
持分法による投資損益(△は益)	△4,468	—
受取保険金	△5,542	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△38,202	—
補助金収入	△1,683	△2,573
売上債権の増減額(△は増加)	183,004	△3,334
たな卸資産の増減額(△は増加)	△257,342	△146,695
未収入金の増減額(△は増加)	27	10,172
仕入債務の増減額(△は減少)	78,533	321,090
未払金の増減額(△は減少)	△9,162	△10,693
未払費用の増減額(△は減少)	831	651
未収消費税等の増減額(△は増加)	3,470	△7,838
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,675	△23,383
その他	8,730	△6,065
小計	140,401	270,698
利息及び配当金の受取額	7,247	802
利息の支払額	△3,150	△2,580
補助金の受取額	1,683	2,573
保険金の受取額	5,542	—
法人税等の支払額	△3,084	△48,260
法人税等の還付額	12,450	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,089	223,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
関係会社株式の売却による収入	137,700	—
固定資産の取得による支出	△60,356	△126,951
貸付けによる支出	—	△515
その他の支出	△3,527	△1,750
その他の収入	1,061	1,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,877	△127,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△50,000
割賦債務の返済による支出	△1,406	△818
リース債務の返済による支出	△33,598	△23,760
配当金の支払額	△5,963	△5,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,031	△80,547
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	294,998	14,887
現金及び現金同等物の期首残高	162,753	344,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	457,751	359,431

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,961,335	391,372	2,352,707	-	2,352,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55,115	19,831	74,946	△74,946	-
計	2,016,451	411,203	2,427,654	△74,946	2,352,707
セグメント利益	9,779	28,199	37,978	2,759	40,738

(注)1 セグメント利益の調整額2,759千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,759,478	363,413	2,122,891	-	2,122,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	98,753	26,058	124,812	△124,812	-
計	1,858,232	389,471	2,247,704	△124,812	2,122,891
セグメント利益	7,544	14,627	22,172	520	22,692

(注)1 セグメント利益の調整額520千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

1 (株式の取得による子会社化)

当社は2020年7月3日に以下のとおり、SUN AUTO株式会社の株式を取得し、子会社化いたしました。

(1) 株式取得の目的

SUN AUTO株式会社は東南アジアに独自の販売ルートを構築し、主に国外向け中古商用車販売事業を営んでおります。

当社におきまして、以前はロシアやニュージーランド向けに輸出を行っておりましたが、リーマンショックや海外の輸入規制の煽りを受け、近年は国内販売に特化し、事業を展開してまいりました。国内販売においても今のところ大きな変化はないものの、国内労働人口の減少や輸送の効率化に伴う商用車の減少も予想され、海外市場への提供を目指し様々な機会を模索してまいりました。

この度の株式取得により、当社の強みである輸出用車両の仕入れとSUN AUTO株式会社の持つ東南アジアの販売網を獲得することで、シナジー効果を発揮することが期待できます。また、各国の規制や商習慣に対応するノウハウ等を得ることが可能となり、海外市場への提供を拡大することを目的としております。

(2) 株式取得の相手の名称

小野 純一

(3) 株式取得の相手の概要

- ①名称 : SUN AUTO株式会社
- ②事業の内容 : 自動車輸出入事業
- ③資本金 : 20,000千円

(4) 株式取得の時期等

- 取締役会決議日 : 2020年4月17日
- 契約締結日 : 2020年5月12日
- 株式取得実行日 : 2020年7月3日

(5) 取得する株式数及び取得後の持分比率

- ①取得する株式数 400株
- ②取得後の持分比率 100%

※取得価額につきましては、当事者間の合意により非公表としておりますが、適正価額を算出しております。

(6) 支払い資金の調達方法及び支払方法

自己資金及び借入による調達

(7) 今後の見通し

本株式取得に伴う、当社グループの2020年12月連結業績に与える影響については精査中であります。

2 (資金の借入)

当社は、2020年6月15日開催の取締役会決議において、上記株式取得に伴う手元資金の減少を補うため、2020年7月3日に下記のとおり、金融機関から資金の借入を行っております。

- (1) 資金使途 : SUN AUTO株式会社のM&A資金及び将来的な設備投資資金
- (2) 借入先 : 株式会社 広島銀行
- (3) 借入金額 : 400,000千円
- (4) 借入金利 : 基準金利+スプレッド
- (5) 借入実行日 : 2020年7月3日
- (6) 返済期限 : 2025年7月3日
- (7) 担保の有無 : 無担保・無保証

3 (固定資産の取得)

当社は、2020年8月3日に以下のとおり、固定資産(土地)を取得いたしました。

(1)取得の理由

当社では更なる業績向上に向け、多種多様なお客さまのニーズにお応えすべく商品ラインナップの拡充強化を掲げております。斯様な中、展示場の拡張をはじめ、今後、最新型車両にも対応できる車検整備ラインの充実も視野に入れ、当該土地を取得する運びとなりました。

(2)取得資産の内容

①固定資産の種類	土地
②所在地	山口県下松市生野屋南3丁目1番外
③土地面積	9,333.74㎡
④取得価額	280,000千円
⑤物件引渡時期	契約締結後6か月以内

(3)当該事象の連結損益に与える影響額

当該土地取得に伴う、当社グループの2020年12月連結業績に与える影響については精査中であります。

4 (社債の発行)

当社は、2020年6月15日開催の取締役会決議において、上記固定資産の取得資金として、以下のとおり社債を発行することを決議し、2020年7月27日付で発行いたしました。

- (1) 社債の種別(名称) : 株式会社TRUCK-ONE 第1回無担保社債(株式会社西京銀行保証付・適格機関投資家限定)
- (2) 発行総額 : 250,000千円
- (3) 社債の利率 : 年0.3%
- (4) 発行価額 : 額面100円につき金100円
- (5) 償還金額 : 額面100円につき金100円
- (6) 償還期限 : 2030年7月27日
- (7) 償還方法 : 最終償還期日に一括償還
- (8) 払込期日(発行日) : 2020年7月27日
- (9) 保証人 : 株式会社 西京銀行
- (10) 財務代理人 : 株式会社 西京銀行
- (11) 総額引受人 : 株式会社 西京銀行
- (12) 振替機関 : 株式会社証券保管振替機構